

平成30年度
全国及び奈良県学力・学習状況調査の調査結果の
活用による指導改善に向けた説明会 (中学校)



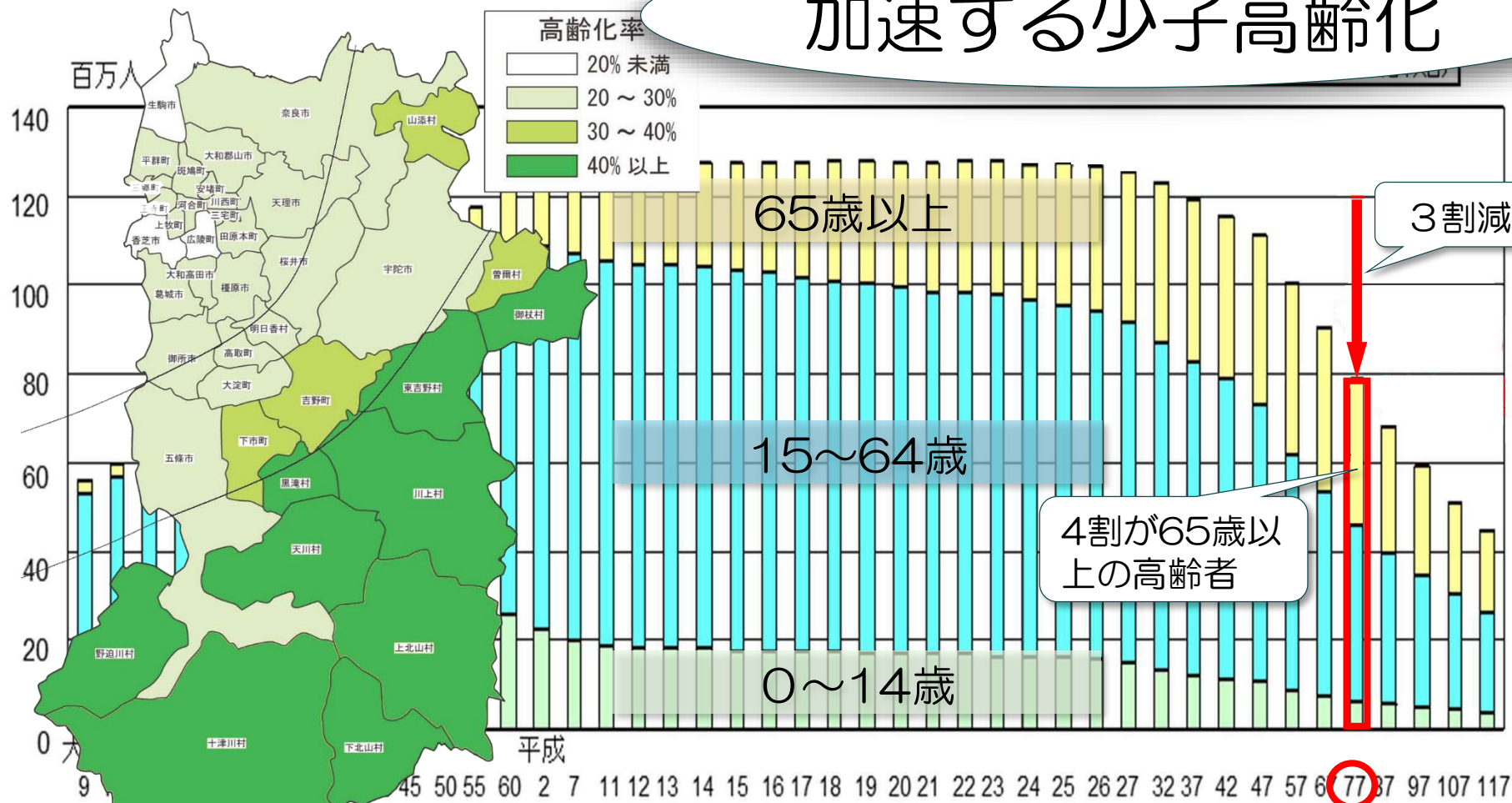
平成30年10月15日 県立教育研究所
県教育委員会事務局 学校教育課
垣内 宏志

(1) 新学習指導要領が目指す資質・能力

人口の推移と将来人口

◆ 少子高齢化の進行により、約50年後には総人口が約3割減少、65歳以上の割合が総人口の約4割に達する見込み。

加速する少子高齢化



平成21年10月1日現在

出典「奈良県高齢者福祉計画」平成22年3月より

(出典) 総務省統計局「日本の統計2014」より文部科学省作成

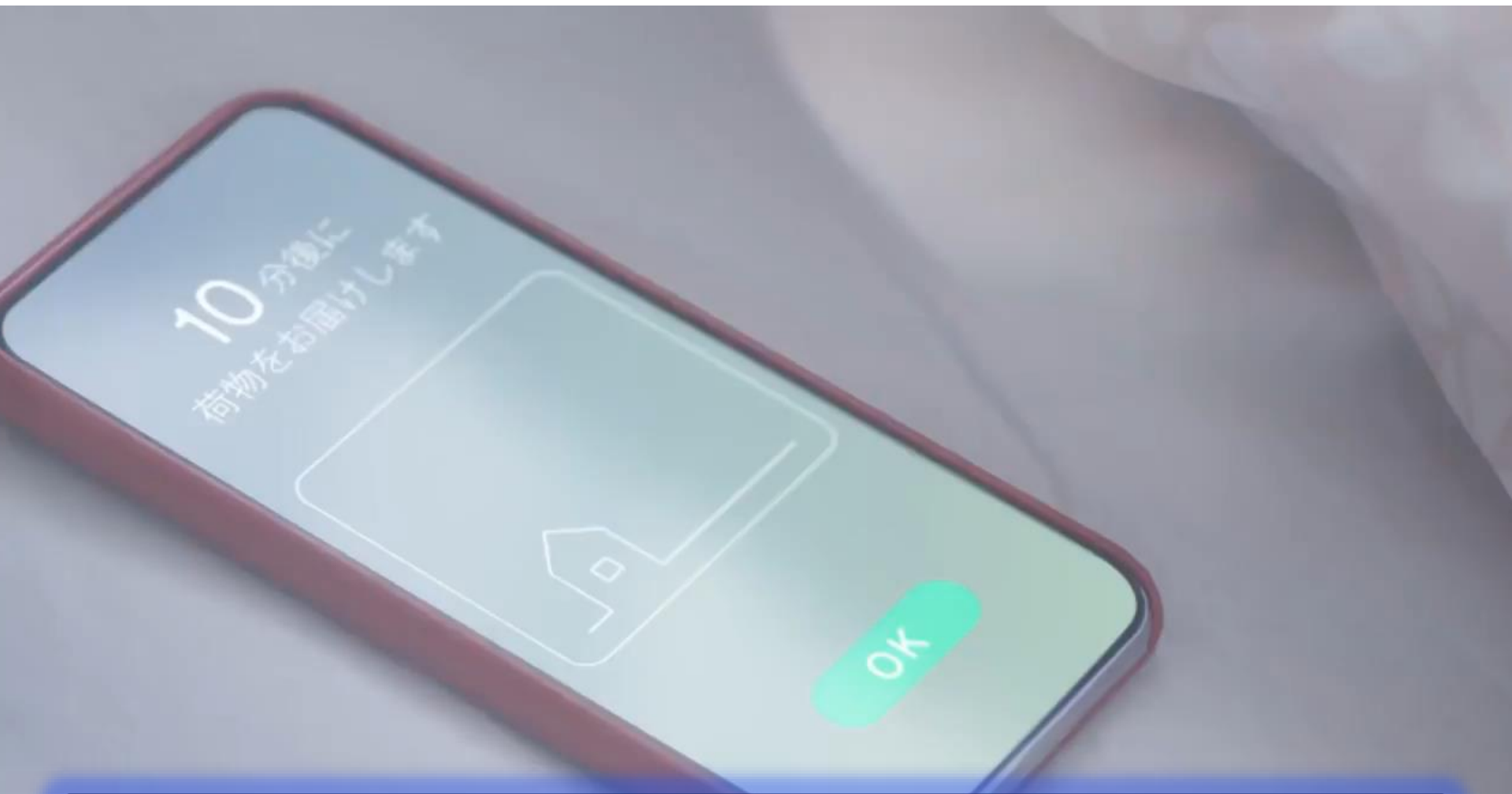
グローバル化の進展



増え続ける外国人観光客

AI(人工知能)の飛躍的進化





今後10年～20年程度で、半数近くの仕事が自動化され、子どもたちの65%は将来、今は存在していない職業に就くという予測も

(1) 新学習指導要領が目指す資質・能力

個別の事実を覚えたり、解き方があらかじめ定まった問題を効率的に解いたりする力だけでは不十分

AIが代替可能だとされる仕事

- 電子部品製造工
- 自動車組立工
- 検収・検品係員
- 宅配便配達員
- 運転手
- 一般事務員、医療事務員
- ホテル客室係
- レジ係
- 寮・マンションの管理人
- 警備員 など

AIが代替できない仕事

- ミュージシャン
- アートディレクター **創造性**
- 美容師
- アナウンサー
- 医師 **臨機応変な対応**
- カウンセラー
- 介護士、ケアマネージャー
- 教員、保育士
- 学芸員 など **人を動かす**

出典「AI時代に勝つ子 負ける子」(東洋経済 2018年)など

膨大な情報から必要な情報を適切に判断して読み取ったり、他者と協働したりしながら自分の考えをもち、課題を解決していく力などが求められている。

(2) 全国学力・学習状況調査の目的と内容

学びに向かう力
人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

実社会の文脈を生かして学ぶ力

全国学力・学習状況調査では、新しい学習指導要領が示す
これからの子どもたちに求められる学力が問われている。

何を理解しているか
何ができるか

知識・技能

複数の情報から自分の考えをまとめる力

理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

(2) 全国学力・学習状況調査の目的と内容

2 山川さんは、総合的な学習の時間に、ロボットについて発表しています。次は、山川さんが発表のために作成した【資料】、【発表の直前の場面】とそれに続く【発表・質問の場面の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

B 問題

平成30年度全国学力・学習状況調査問題【中学校 国語B】より

【発表の直前の場面】

人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をしているのか詳しく聞きたいです。

南さん

これから「ロボットに期待すること」について発表します。こちらの資料の1を見てください。私は、人とコミュニケーションをとることができる人型や動物型のロボットについて調べました。皆さんはこのようなロボットを見たことがありますか。それぞれのロボットによってできることは少しずつ違います。②にまとめましたが、特に私が注目したのは、人と触れ合うことで、一人一人の顔を覚えたり、接する相手に合わせて動いたりするロボットがあることです。ロボットも人間と同じように学習することによって、私は、このロボットが、どのような会話をしているのか詳しく聞きたいです。南さん、大野さん、山川さんは、一人暮らしのおばあさんの生活にロボットがどのように役立つと考えているのですか。

南さん 大野さん

人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をしているのか知りたいのですが、具体的な会話の例を教えてください。

山川さん

【発表・質問の場面の一部】

三 山川さんは、最後にロボットに期待することを書いて発表をまとめます。山川さんの話の進め方として最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

1 これまで話してきた内容を聞きとるやりとりを踏まえて、「資料」の中の③の情報を取り上げながら発表をまとめます。

2 聞きとるやりとりを踏まえて生じた新たな考えをもとに、「資料」の中の①②の情報を使って発表をまとめます。

3 これまで話してきた内容を聞きとるやりとりを踏まえて、「資料」の中の③の情報を基に発表をまとめます。

4 聞きとるやりとりの内容を基に話の方向を転換し、「資料」の中の③の情報を基に発表をまとめます。

2 山川さんは、総合的な学習の時間に、ロボットについて発表しています。次は、山川さんが発表のために作成した【資料】、【発表の直前の場面】とそれに続く【発表・質問の場面の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。【発表の直前の場面】の中には、話の中で使われていることを表しています。

ロボットに期待すること

1 人とコミュニケーションをとるロボットの例

人型のロボット 動物型のロボット

【資料】

2 ロボットが

- 人の言葉や行動を認識して反応する。
 - ・ 簡単な日常会話をする。
 - ・ ニュースや天気予報を伝える。
- 人と触れ合うことで学習する。
 - ・ 一人一人の顔を覚える。
 - ・ 接する相手に合わせて動く。

3 これからの社会とロボット

- ・ 65歳以上の人口の割合は、2060年には日本の総人口の約4割に達する見込み。
- ・ 総務省のアンケート調査では、60代以上の54.5%が、人とコミュニケーションをとるロボットを利用したい、「利用を検討してもよい」と回答。

(総務省ウェブサイトによる。)

一 【発表・質問の場面の一部】の南さんと大野さんの質問の語句と①～④の語句を適切なものを選び、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

1 南さんは昔前にもついていた疑問を解決するために質問し、大野さんは山川さんの説明の誤りを指摘するために質問している。

2 南さんは昔前にもついていた疑問を解決するために質問し、大野さんは南さんの質問を聞いて生じた疑問を解決するために質問している。

3 南さんは山川さんの説明の要点を指摘するために質問し、大野さんは南さんの質問を聞いて生じた疑問を解決するために質問している。

4 南さんは山川さんの説明の要点を指摘するために質問し、大野さんは山川さんの発表の要点を確かめるために質問している。

二 南さんと大野さんに続いて、あなたが山川さんに質問するとしたら、どのような質問をしますか。要領を踏まえて1つ書きなさい。

※ 左の様子は、下書きに使用できません。解答は必ず解答用紙に記入してください。

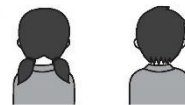
(2) 全国学力・学習状況調査の目的と内容

発表の直前の場面

【発表・質問の場面の一部】

- 一 【発表・質問の場面の一部】の南さんと大野さんの質問の意図として最も適当なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 1 南さんは事前にもっていた疑問を解決するために質問し、大野さんは山川さんの説明の誤りを指摘するために質問している。
 - 2 南さんは事前にもっていた疑問を解決するために質問し、大野さんは説明を聞いて生じた疑問を解決するために質問している。
 - 3 南さんは山川さんの説明の矛盾を指摘するために質問し、大野さんは説明を聞いて生じた疑問を解決するために質問している。
 - 4 南さんは山川さんの説明の矛盾を指摘するために質問し、大野さんは山川さんの発表の要点を確かめるために質問している。

人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をするのか詳しく聞きたいな。



南さん

これから「ロボットに期待すること」について発表します。

こちらの資料の①を見てください。私は、人とコミュニケーションをとることができる人型や動物型のロボットについて調べました。皆さんはこのようなロボットを見たことがありますか。それぞれのロボットによってできることは少しずつ違います。②にまとめましたが、特に私が注目したのは、人と触れ合うことで、一人一人の顔を覚えたり、接する相手に合わせて動いたりするロボットがあることです。ロボットも人間と同じように学習するというのに驚きました。

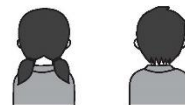
私は、このような人とコミュニケーションをとることができるロボットを祖母に贈りたくになりました。遠くに住んでいてなかなか会うことができない一人暮らしの祖母の生活に役立つと考えたからです。

ここまでで何か質問はありますか。



山川さん

人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をするのか知りたいのですが、具体的な会話の例を教えてください。



南さん

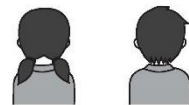
大野さん

山川さんは、一人暮らしのおばあさんの生活にロボットがどのように役立つと考えているのですか。

(2) 全国学力・学習状況調査の目的と内容

【発表の直前の場面】

人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をするのか詳しく聞きたいな。



南さん

【発表・質問の場面の一部】

これから「ロボットに期待すること」について発表します。

こちらの資料の①を見てください。私は、人とコミュニケーションをとることができる人型や動物型のロボットについて調べました。皆さんはこのようなロボットを見たことがありますか。それぞれのロボットによってできることは少しずつ違います。②にまとめましたが、特に私が注目したのは、人と触れ合うことで、一人一人の顔を覚えたり、接する相手に合わせて動いたりするロボットがあることです。ロボットも人間と同じように学習するという事に驚きました。

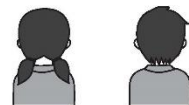
私は、このような人とコミュニケーションをとることができるロボットを祖母に贈りたくになりました。遠くに住んでいてなかなか会うことができない一人暮らしの祖母の生活に役立つと考えたからです。

ここまでで何か質問はありますか。



山川さん

人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をするのか知りたいのですが、具体的な会話の例を教えてくださいませんか。



南さん

大野さん

山川さんは、一人暮らしのおばあさんの生活にロボットがどのように役立つと考えているのですか。

二 南さんと大野さんに続いて、あなたが山川さんに質問するとしたら、どのような質問をしますか。実際に話すように一つ書きなさい。
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

(正答例)

・山川さんは、人型と動物型のどちらのロボットをおばあさんに贈りたいと思ったのですか。
・ロボットは、どのようにして天気についての情報を得ているのですか。

(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。

- ① 【資料】の中の①②に書かれていることや、発表・質問の場面の一部
- ② 南さんと大野さんの発表に関する適切な質問を書いている。
- ③ 実際に話すように書いている。

(2) 全国学力・学習状況調査の目的と内容

【資料】

ロボットに期待すること

1 人とコミュニケーションをとるロボットの例

人型のロボット



動物型のロボット



2 ロボットができることの例

- 人の言葉や行動を認識して反応する。
 - ・ 簡単な日常会話をする。
 - ・ ニュースや天気予報を伝える。
- 人と触れ合うことで学習する。
 - ・ 一人一人の顔を覚える。
 - ・ 接する相手に合わせて動く。

3 これからの社会とロボット

- ・ 65歳以上の人口の割合は、2060年には日本の総人口の約4割になる見込み。
- ・ 総務省のアンケート調査では、60代以上の54.5%が、人とコミュニケーションをとるロボットを「利用したい」、「利用を検討してもよい」と回答。

(総務省ウェブページによる。)

三 山川さんは、最後にロボットに期待することを述べて発表をまとめます。山川さんの話の進め方として最も適当なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 これまで話してきた聞き手とのやり取りを踏まえた上で、【資料】の中の【3】の情報を取り上げながら発表をまとめます。
- 2 聞き手とのやり取りを通して生まれた新たな考えをもとに、【資料】の中の【1】と【2】の情報を使って発表をまとめます。
- 3 これまで話してきた聞き手とのやり取りは踏まえずに、【資料】の中の【3】の情報を使って発表をまとめます。
- 4 聞き手とのやり取りの内容を受けて話の方向を転換し、【資料】の中の【3】の情報に触れずに発表をまとめます。

(3) 教科に関する調査結果

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果（教科）

	国語 A				国語 B			
	平成30年度		平成29年度		平成30年度		平成29年度	
	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	8.5/12 70.7	8.3/12 69	11.2/15 74.8	11.0/15 74	4.4/8 54.7	4.3/8 53	5.2/9 57.5	5.1/9 56
中学校	24.3/32 76.1	24.2/32 76	24.8/32 77.4	24.8/32 78	5.5/9 61.2	5.4/9 60	6.5/9 72.2	6.4/9 72

	算数・数学 A				算数・数学 B			
	平成30年度		平成29年度		平成30年度		平成29年度	
	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	8.9/14 63.5	8.8/14 63	11.8/15 78.6	11.7/15 78	5.1/10 51.5	5.0/10 50	5.1/11 45.9	5.0/11 45
中学校	23.8/36 66.1	23.8/36 66	23.3/36 64.6	23.4/36 65	6.6/14 46.9	6.5/14 46	7.2/15 48.1	7.2/15 48

	理 科			
	平成30年度		平成27年度	
	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	9.6/16 60.3	9.5/16 59	14.6/24 60.8	14.4/24 60.0
中学校	17.9/27 66.1	17.3/27 64	13.3/25 53.0	12.9/25 51.5

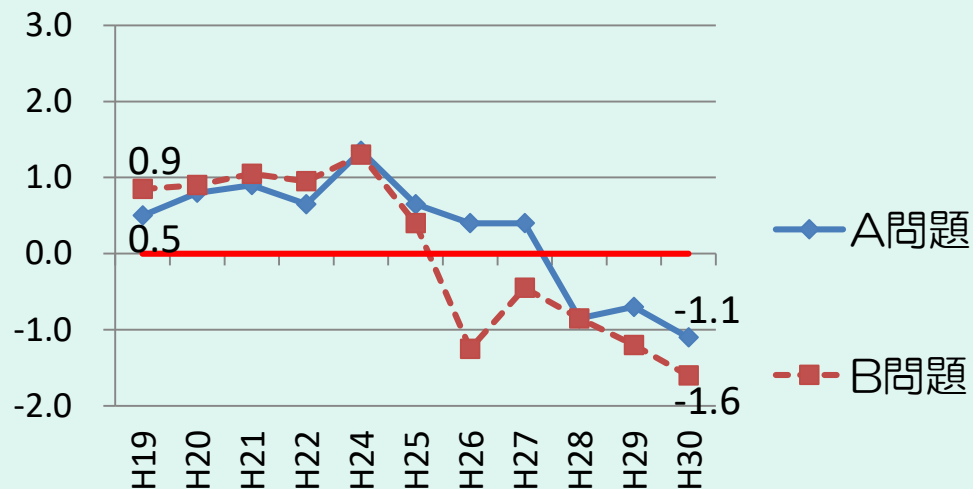
（上段：平均正答数 下段：平均正答率(%)）

※平成29年度から、国からの各都道府県別の平均正答率の提供が整数値となったため、平成30年度の奈良県の平均正答率は整数値で示しています。

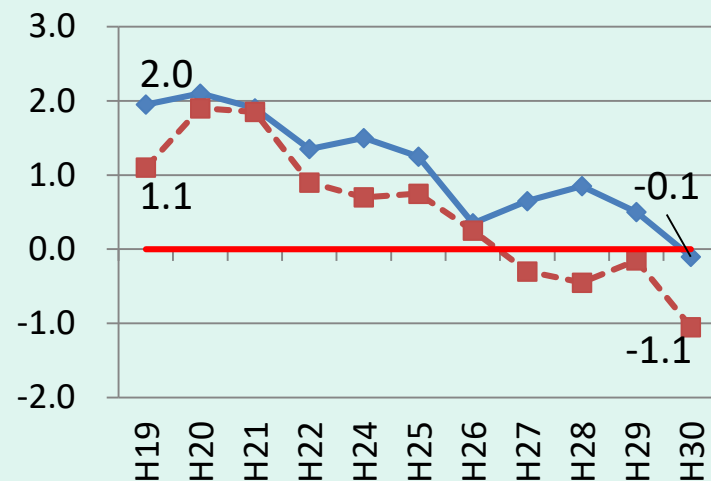
- 小学校においては、国語A、国語B、算数A、算数B、理科の全ての調査において、全国平均正答数を0.1から0.2ポイント下回っている。
- 中学校においては、全国平均正答数に比べて、国語A、国語B、数学A、数学Bで同ポイント又は0.1ポイント下回っており、理科では0.6ポイント下回っている。

(3) 教科に関する調査結果

国語及び算数・数学の相加平均正答率の全国平均との差



小学校



中学校

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果から

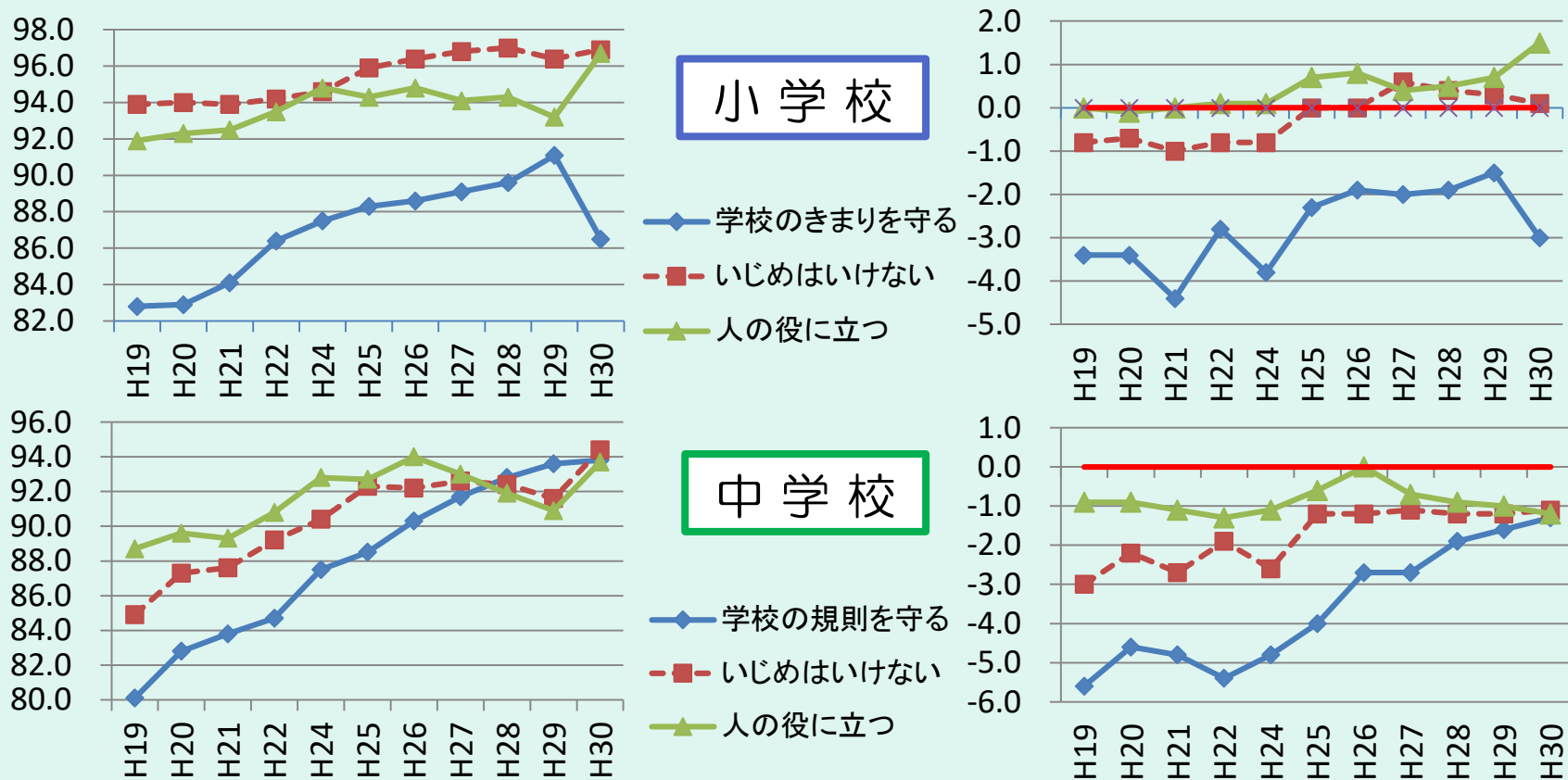
奈良県の児童生徒の学力は、**相対的に下降傾向**にある。

※ 平成29年度以降、各都道府県の平均正答率が整数値で公表されるようになったため、平成29年度以降の数値については±0.5ポイント程度の誤差があります。

(4) 質問紙の調査結果

ア 規範意識に関する状況

規範意識に関する各質問項目に肯定的な回答をした児童生徒の割合及び全国平均との差



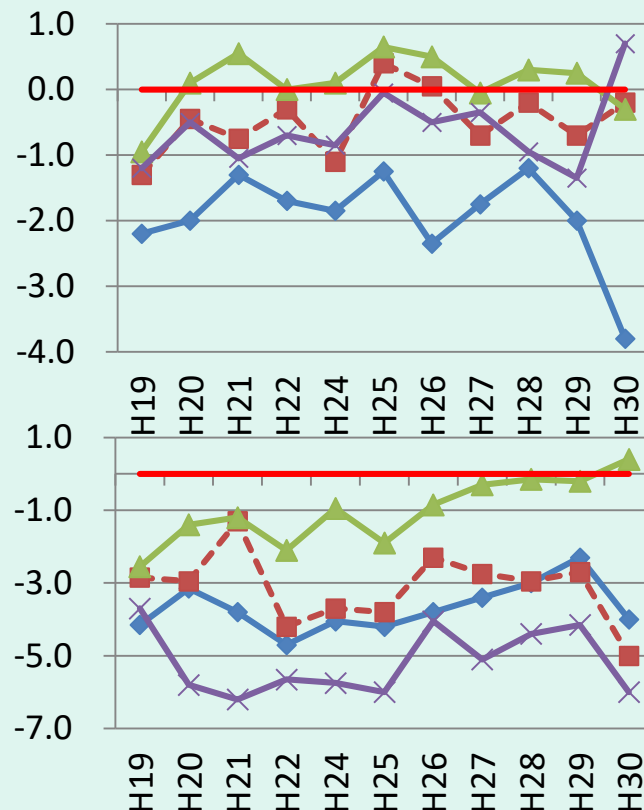
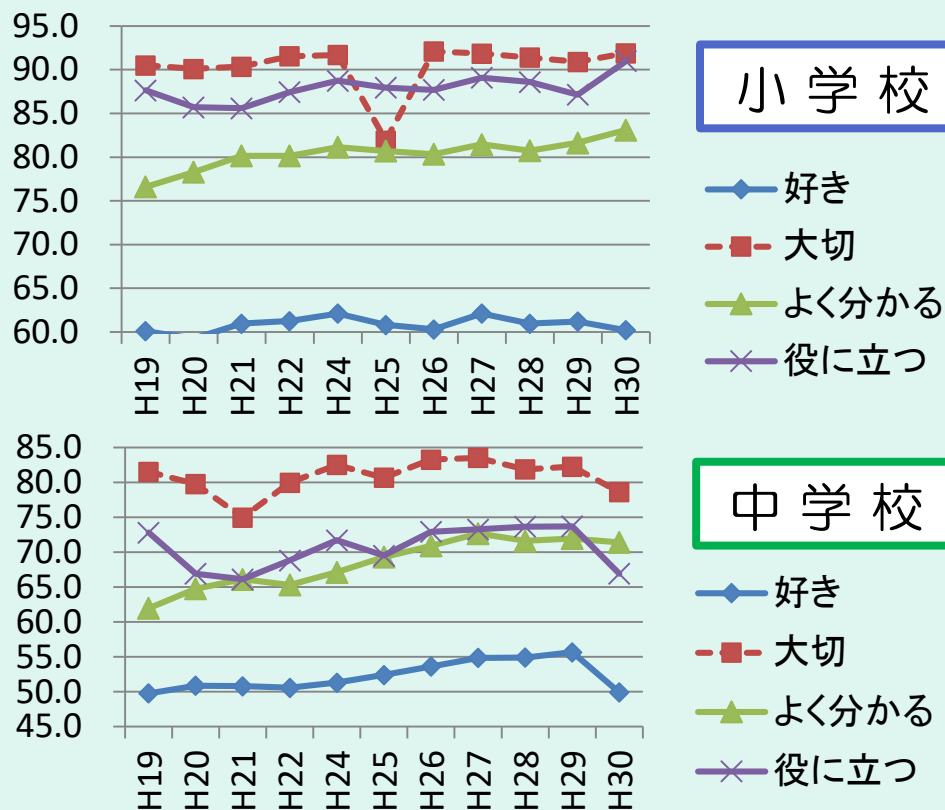
平成30年度 奈良県学力・学習状況調査 生徒質問紙の結果から

奈良県の児童生徒の規範意識は、全国平均に近付いている。

(4) 質問紙の調査結果

イ 学習意欲に関する状況

国語、算数・数学の学習意欲に関する各質問項目に肯定的な回答をした児童生徒の割合及び全国平均との差



※ 全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙の結果から ただし、平成30年度は、算数・数学のみ。

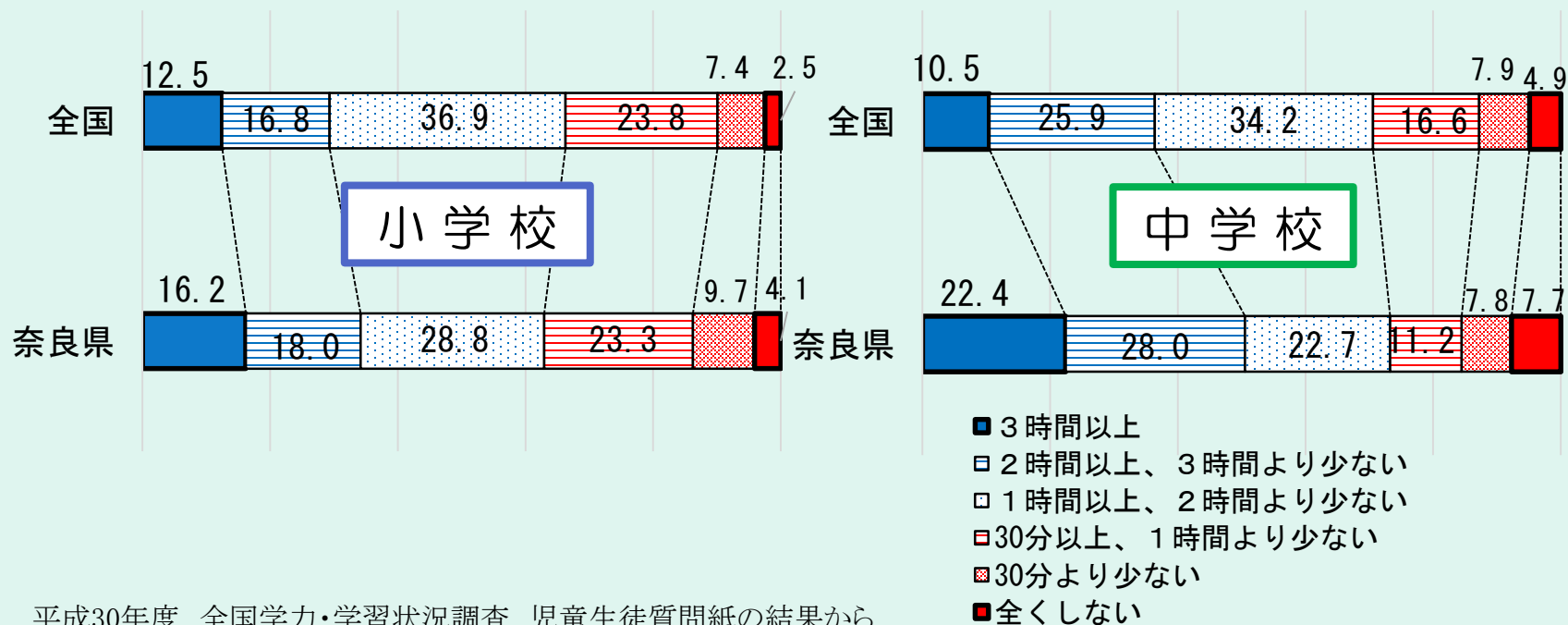
奈良県の児童生徒の**学習意欲**は、**ほぼ横ばい**であり、**特に中学校において全国平均との差が大きい**。

(4) 質問紙の調査結果

ウ 学習習慣等に関する状況

学校外での学習時間に関する質問項目における全国平均との比較

学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



平成30年度 全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙の結果から

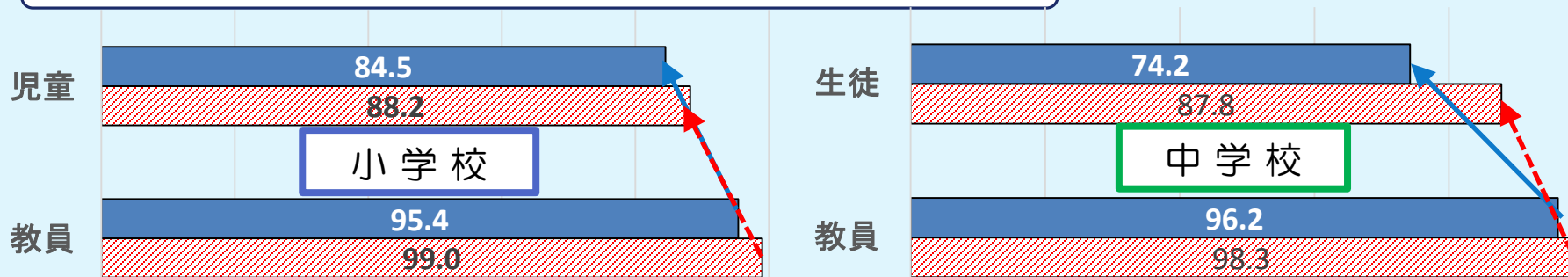
奈良県の児童生徒の**学習時間**について、全国平均との比較では、「**3時間以上**」と「**全くしない**」と回答した児童生徒の割合が大きい。

(4) 質問紙の調査結果

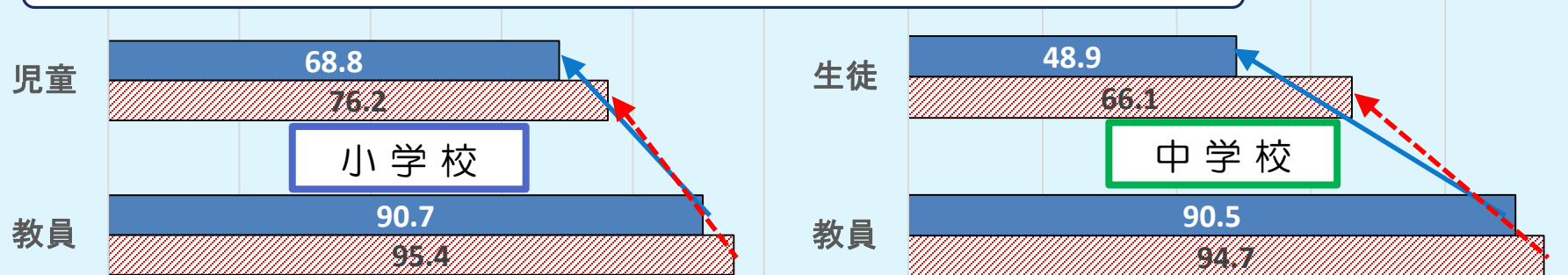
エ 学習状況(指導状況)

学校での学習状況(指導状況)に関する質問項目における全国平均との比較

授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたか



授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたか



■ 奈良県 ■ 全国

平成29年度 全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙と学校質問紙の比較から

教員は指導しているつもりでも児童生徒には十分意識されていない。
特に中学校において、全国平均との差が顕著に見られる。

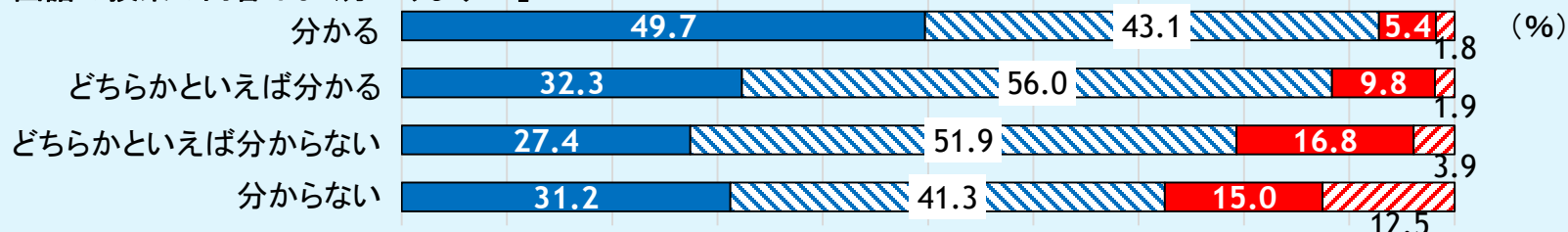
(4) 質問紙の調査結果

エ 学習状況(指導状況)

学校での学習状況(指導状況)と学習意欲の相関関係

「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたか」と「国語の授業の内容はよく分かる」の関係

「国語の授業の内容はよく分かりますか」

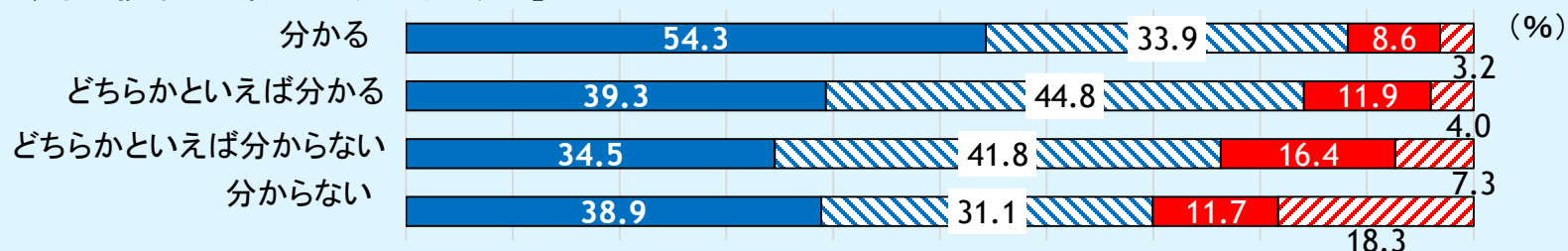


「小学校では、授業のはじめに目標(めあて、ねらい)が示されていたと思いますか。」

■思う □どちらかといえば、思う ■どちらかといえば、思わない □思わない

「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたか」と「数学の授業の内容はよく分かる」の関係

「数学の授業の内容はよく分かりますか」



「小学校では、授業のはじめに目標(めあて、ねらい)が示されていたと思いますか。」

■思う □どちらかといえば、思う ■どちらかといえば、思わない □思わない

平成30年度 奈良県学力・学習状況調査 生徒質問紙の結果から

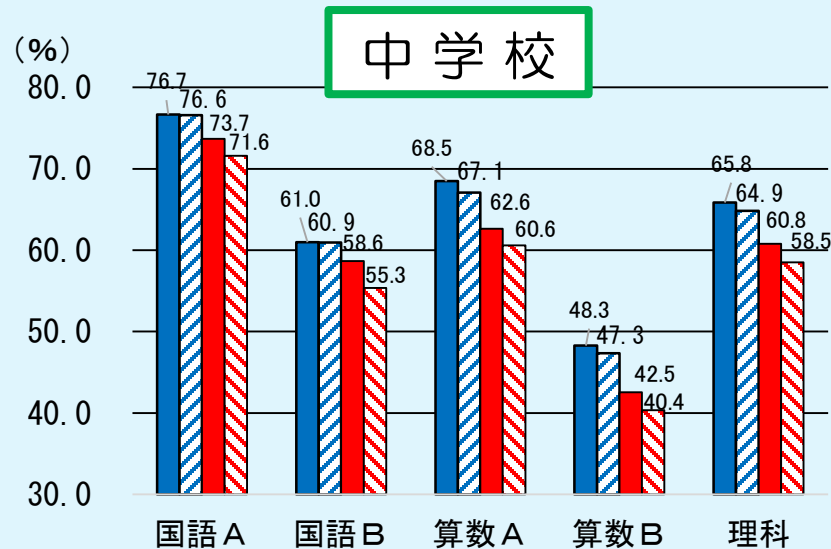
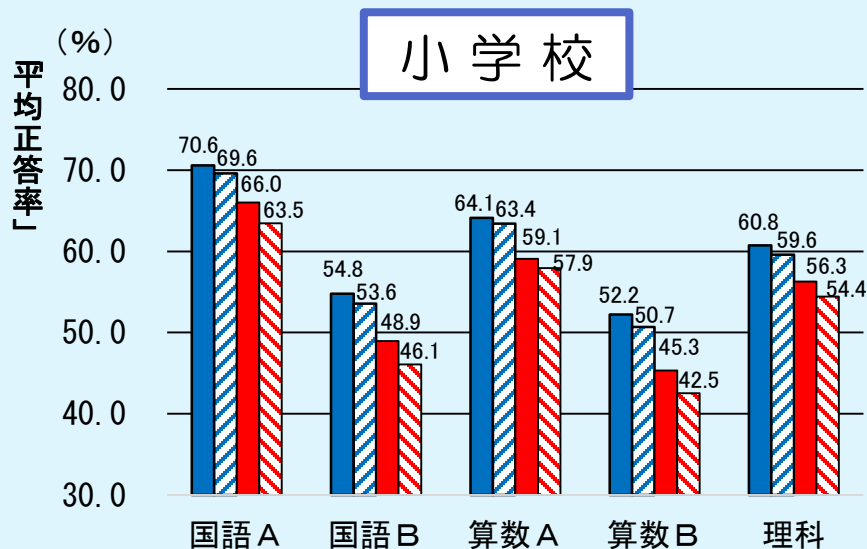
学習目標が明確な授業は、分かる授業につながっている。

(4) 質問紙の調査結果

オ 自尊心

学校での学習状況（指導状況）と学力の相関関係

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と各教科の平均正答率



「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」

■ 当てはまる

■ どちらかといえば、当てはまる

■ どちらかといえば、当てはまらない

■ 当てはまらない

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果から

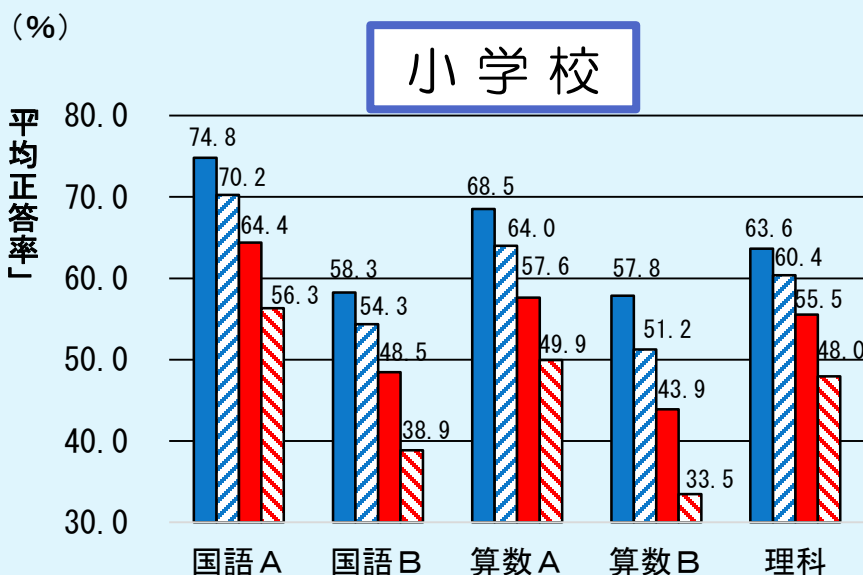
自尊感情が高い児童生徒ほど、各科目における平均正答率が高い。

(4) 質問紙の調査結果

カ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

学校での学習状況（指導状況）と学力の相関関係

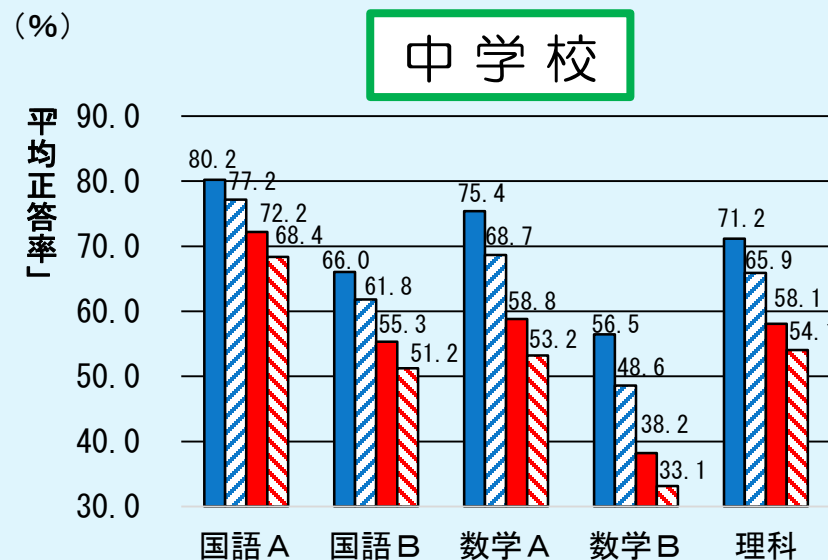
「これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいたと思いますか。」と各教科の平均正答率



「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいたと思う」

□ 当てはまる

□ どちらかといえば、当てはまらない



「1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいたと思う」

□ どちらかといえば、当てはまる

□ 当てはまらない

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果から

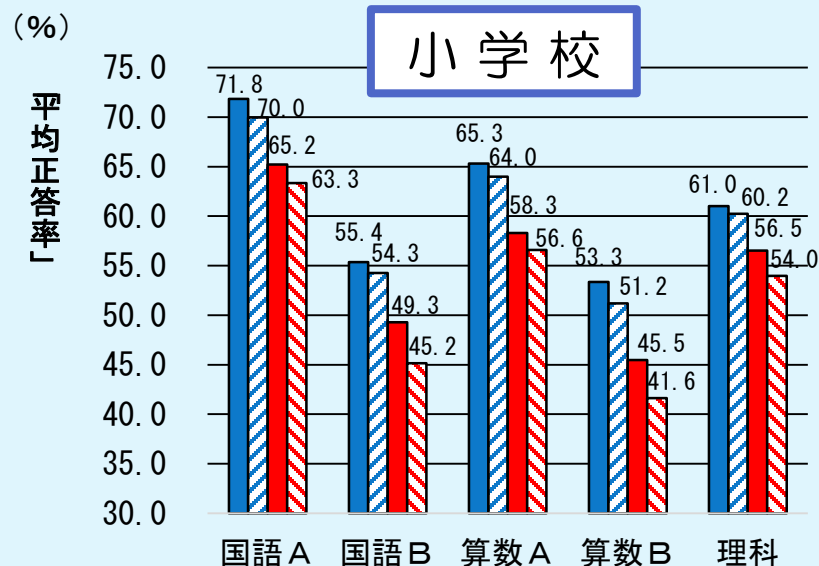
「主体的に学習している」と回答した児童生徒ほど、各科目における平均正答率が高い。

(4) 質問紙の調査結果

カ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

学校での学習状況（指導状況）と学力の相関関係

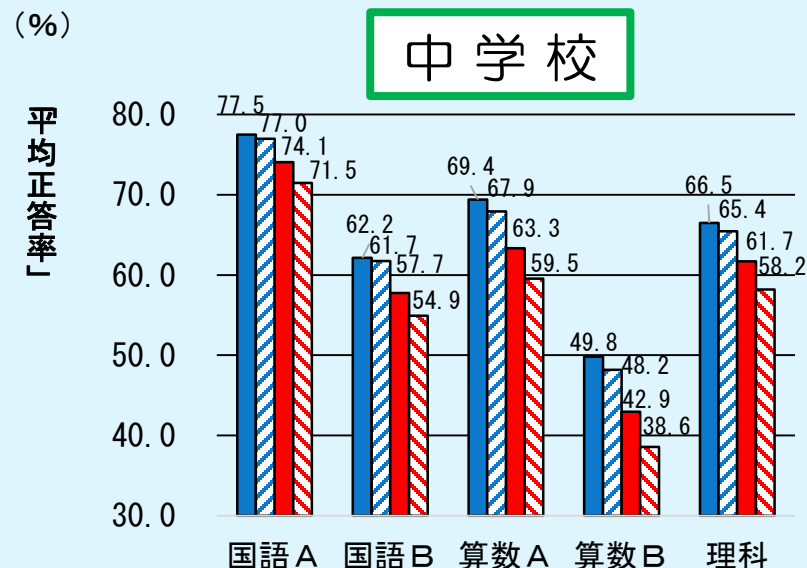
「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」と各教科の平均正答率



「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていたと思う」

□ 当てはまる

□ どちらかといえば、当てはまらない



「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていたと思う」

□ どちらかといえば、当てはまる

□ 当てはまらない

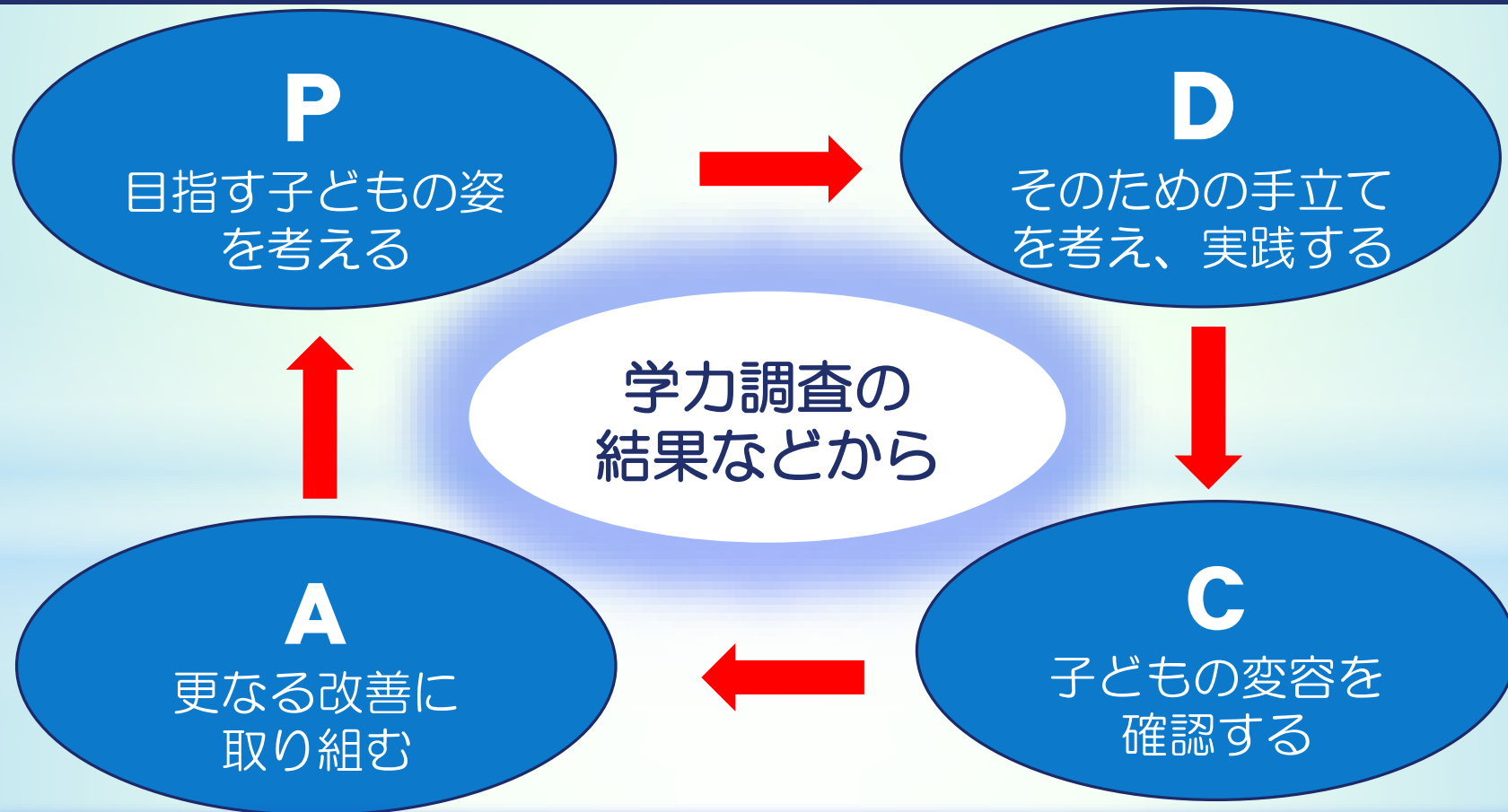
平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果から

「**対話的な学習活動をしている**」と回答した児童生徒ほど、各科目における**平均正答率が高い**。

(5) 先生方にお願いしたいこと

～より良い学校づくりのために～

カリキュラム・マネジメント



教科等横断的な視点で必要な人的又は物的な体制を確保しながら、
組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図る。

(5) 先生方をお願いしたいこと

～より良い学校づくりのために～

例えば、「家庭学習が定着しない」という課題に対して

量が多いからではないか？



もう少しやりたいと思うくらいの量から始める

難しすぎるからではないか？



始めのうちは、授業の終わりに考え方等について説明する時間を取る

やる意義を見いだせないからではないか？

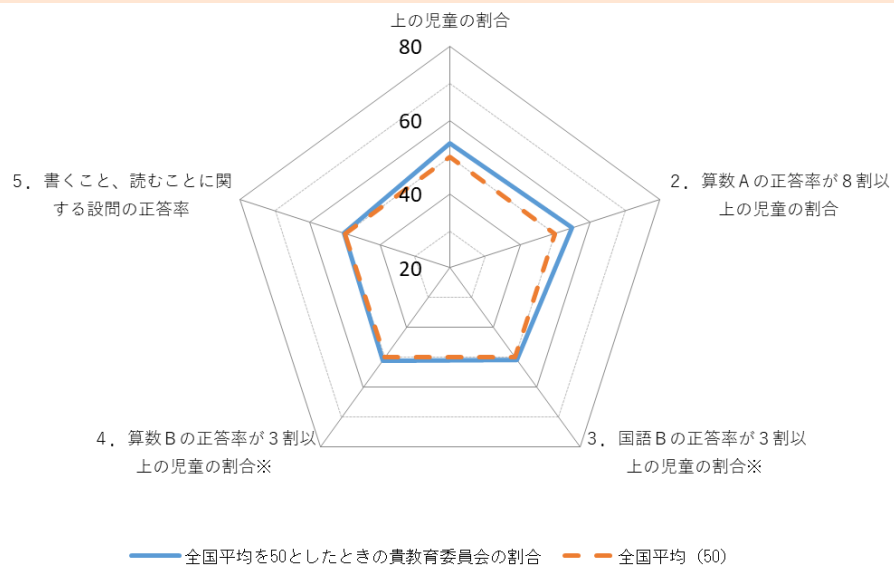


調べたり、考えたりしたものなら、授業で使ったり、みんなに紹介したりする

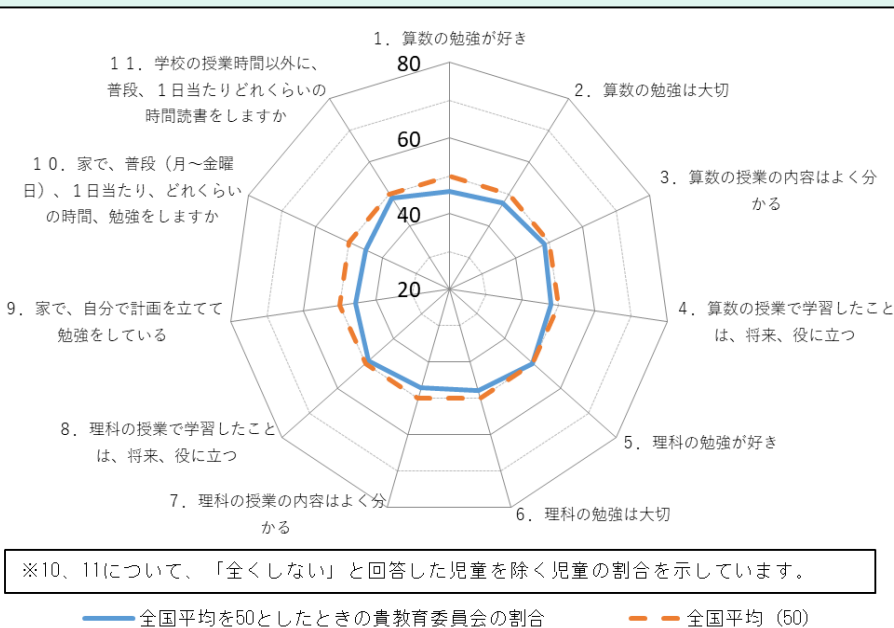
教科等や学年を超えて、効果的な手立てを共有しながら、**具体的で実現可能な手立てを積み重ね**ていく。

(5) 先生方にお願いしたいこと

～より良い学校づくりのために～



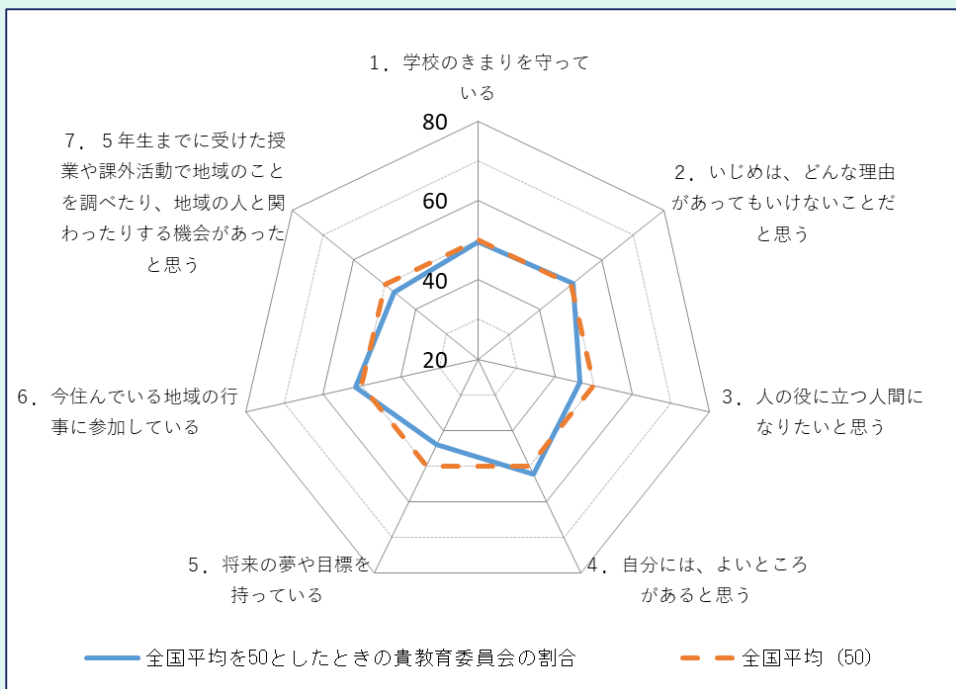
- 1 国語Aの正答率が8割以上の児童生徒の割合
- 2 算数・数学Aの正答率が8割以上の児童生徒の割合
- 3 国語Bの正答率が3割以下の児童生徒の割合
- 4 算数・数学Bの正答率が3割以下の児童生徒の割合
- 5 書くこと、読むことに関する設問の正答率



- 1～4 算数・数学の勉強が「好き」「大切」「よく分かる」「学習したことは将来役に立つ」
- 5～8 理科の勉強が「好き」「大切」「よく分かる」「学習したことは将来役に立つ」
- 9 家で、自分で計画を立てて勉強している
- 10 家で、普段（月～金）の学習時間
- 11 学校の授業時間以外の読書の時間

(5) 先生方にお願いしたいこと

～より良い学校づくりのために～



- 1 学校のきまり（規則）を守っている
- 2 いじめはどんな理由があってもいけないと思う
- 3 人の役に立つ人間になりたいと思う
- 4 自分には、よいところがあると思う
- 5 将来の夢や目標を持っている
- 6 今住んでいる地域の行事に参加している
- 7 これまでに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思う。

奈良県教育振興大綱に示す評価指標について、自校の実現状況を把握するとともに、**各学校の教育目標の実現のために、全ての教員でカリキュラム・マネジメントに努めていただきたい。**

(5) 先生方にお願いしたいこと

～より良い学校づくりのために～

おわりに…

(1) **調査問題**や**調査結果**を**より良い学校づくり**に役立ててください。

- これからの社会を生きる子どもたちに、どんな学力が求められているのか？
- 目の前の子どもの姿は？

(2) **より良い学校づくり**のために、**全ての教員**で取り組んでください。

- 一人一人の先生は真面目で熱心。しかし、学校全体として、育てたい子どもの姿やそのための手立てについて同じ方向性をもって子どもの指導に当たっていますか？

(3) **実現可能な目標を設定**し、定期的に実現状況を**検証**、**改善**を図るといった**PDCAサイクルを確立**してください。

- できそうなことから少しずつ。小さな自己実現の積み重ねが、大きな力につながるの、教員も子どもも同じではないでしょうか？